

2B Booster User Manual



各コントロールについて

GAIN

時計回りに回すと音量が上がり、反時計回りに回すと音量が下がります。反時計回りに回し切ると、オフのときとほぼ同じ音量になるはずですが、GAIN のブースト量は多くの要因に左右されますが、その 1 つはアンプのパワーと状態、そしてアンプのインプットのヘッドルームの広さです。ワット数の低いアンプを使用した場合、音が小さくなるだけでなく、アンプが歪んでしまう可能性があります。使用する真空管の状態や種類、スピーカーの状態、さらにはアンプの設計により歪む場合もあります。

DYNAMICS

このノブを時計回りに回すと、ゲルマニウム・ダイオードのリミッター回路が働き始めます。

注：このノブを回しすぎると、スタジオのリミッター/コンプレッサーのように、実際に音量を下げ始めます。まず DYNAMIC ノブを好みのフィードバックに設定し、次に GAIN ノブを好みの音量に調節してください。

ON/OFF Footswitch

オン/オフを切り替えるスイッチです。OFF 時、高品質なユニティーゲイン・バッファー となります。JFET バッファーが、オーディオ回路の不備、パッチ・ケーブルの使用、ギターからペダルボード、アンプまでの長いケーブルなど、チェーン内の他のエフェクトによってもたらされるシグナルとトーンのロス完全に緩和します。

ヒント：2B の超低出力インピーダンスがファズのサウンドに影響を与えないように、2B はファズペダルの後に設置することをおすすめいたします。

入出力について

INPUT 1/4" モノラル標準フォン入力端子

OUTPUT 1/4" モノラル標準フォン出力端子

電源について

DC INPUT

高品質で安定化された 2.1mm x 5.5mm プラグの 9 ~ 18VDC センターマイナス電源で動作します。

BATTERY

9 ボルト電池 (006P バッテリー) で駆動させることも可能です。電池交換の際は、筐体左右のネジを回して外し、ペダルの上部と下部を分離して電池を交換します。

「ブースト」ペダルの重要性

現代のペダルボードには平均して 8 つ以上のペダルがあり、それぞれを通る際に多くの信号を損失しています。この「2B」ブースターを使用すればソロの時に音量を上げるためだけでなく、失われたゲイン、トーン、「タッチ」を取り戻すことが可能です。

バッファードバイパス

通常ブースターペダルは OFF にすると、高品質なユニティーゲイン・バッファーを提供しなくなるため、結局 2 つのブースターを購入する必要があります。1 つは "ユニティーゲイン" に設定し、もう 1 つは Volume を変更するために設定します！ 2B では、JFET バッファーが、ペダルがオフの時にも信号をバッファリングします。

JFET オペアンプ

最高の JFET オペアンプにより GAIN ノブを 12 時以降の方向に回すと、きつい超高域が絶妙にロールオフされます。他のブースターにありがちな、トップ・エンドの甲高い音を抑えました。

DYNAMICS ノブ

時計回りに回すと、タッチレスポンスをわずかに変化させ、耳にもアンプにもスピーカーにも悪影響を与える過入力を抑えます。スタジオで曲のミックスダウンにリミッターを使うのと同じように、ライブでの音作りをサポートします。この機能により、"OK" なアンプでもレスポンスが良く、ジューシーに感じられるようになり、アンプの入力の歪みを防ぐことができます。